

各 位



平成 20 年 8 月 11 日

会社名 小倉クラッチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉康宏
(J A S D A Q ・ コード 6 4 0 8)
問合せ先 常務取締役 河内正美

特別損失の計上並びに平成 2 1 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (連結 ・ 個別) 業績予想及び
通期業績予想 (連結 ・ 個別) の修正に関するお知らせ

当社の平成21年3月期第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)において、下記のとおり棚卸資産評価損を特別損失に計上いたしますので、その概要をお知らせいたしますとともに、平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想について、平成20年5月19日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたこととともない、棚卸資産の評価方法を変更いたしました。当該処理により、個別で238百万円、連結で244百万円の特別損失を計上いたします。

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (20年5月19日発表)	24,500	260	100	65	4.33円
今回修正予想(B)	25,000	340	510	50	3.33円
増減額(B-A)	500	80	410	15	-
増減率(%)	2.0	30.8	410.0	23.1	-
(ご参考) 前期(20年3月期)実績	25,599	528	741	13	0.88円

3. 平成21年3月期通期連結業績予想値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (20年5月19日発表)	50,000	250	300	140	9.33円
今回修正予想(B)	50,700	430	720	110	7.33円
増減額(B-A)	700	180	420	30	-
増減率(%)	1.4	72.0	140.0	21.4	-
(ご参考) 前期(20年3月期)実績	49,529	548	214	626	41.75円

4. 平成21年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (20年5月19日発表)	18,000	40	100	60	4.00円
今回修正予想(B)	18,360	40	260	20	1.33円
増減額(B-A)	360	-	160	80	-
増減率(%)	2.0	-	160.0	-	-
(ご参考) 前期(20年3月期)実績	18,026	200	210	138	9.20円

5. 平成21年3月期通期個別業績予想値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (20年5月19日発表)	37,530	140	300	180	11.99円
今回修正予想(B)	37,970	160	520	190	12.66円
増減額(B-A)	440	20	220	10	-
増減率(%)	1.2	14.3	73.3	5.6	-
(ご参考) 前期(20年3月期)実績	37,597	591	314	243	16.24円

6. 修正の理由

(1)連結業績予想

売上高は当初予想を若干上回る見込みですが、営業利益ベースでは鋼材価格の上昇による持ち出し額(通期で240百万円、上期130百万円)による悪化が見込まれます。好転要因としては対ドル為替レートが平成20年3月期よりも円安に振れたことにより設定レートを100円から105円に見直したことにともない売上が通期で230百万円、上期で85百万円の為替メリットが発生します。また、支払賞与が当初見込よりも70百万円減少します。国内子会社の採算状況が改善し、上期で70百万円、通期で180百万円営業利益が好転する見込みです。

経常利益ベースでは為替損益が改善され営業外損益が上期300百万円、通期250百万円改善される見込です。

一方、特別損失として棚卸資産評価損(244百万円)を計上した結果、四半期純利益・当期純利益は当初予想を下回る見込です。

(2)個別業績予想

売上高は当初予想を若干上回る見込みですが、営業利益ベースでは鋼材価格の上昇による持ち出し額(通期で240百万円、上期130百万円)による悪化が見込まれます。好転要因としては対ドル為替レートが平成20年3月期よりも円安に振れたことにより設定レートを100円から105円に見直したことにともない売上が通期で230百万円、上期で85百万円の為替メリットが発生します。また、支払賞与が当初見込よりも70百万円減少します。

経常利益ベースでは雑収入が50百万円減少し、為替差益を上期、通期で250百万円見込みました。

一方、特別損失として棚卸資産評価損(238百万円)を計上した結果、四半期純利益は当初予想を下回る見込です。

以上